

清水中学校 校内研究便り No.3

お忙しい中、昨日は評価員訪問に関する授業の準備をしていただき、有難うございました。

「読み」を鍛える評価委員さんより頂いた感想

【良かったこと】

- 前回より明るく挨拶をしてくれる生徒が多い。
 - 明るく男女の仲も良いと感じた。
 - 生徒も先生も真面目に授業に取り組んでいる様子が見てわかる。
 - 教員との信頼関係も築かれていた。
- 生徒のアンケート結果より：先生は丁寧に説明してくれると感じている生徒は多い。

【東先生の授業について】

- 導入からめあてまでの流れが分かりやすい（生徒にとって）。
 - 子供たちが言いたくなる、したくなるような興味を引き付ける工夫がされていた。
 - 楽しくテンポのよい授業だった。
 - 表現すること、考えること、活用することができる生徒の姿が見られた。
 - 2/3ぐらいの生徒が発言できていた。
- (時間的に当たらなかったが、発言したそうな生徒が沢山見られた。)
- 全員参加の授業が出来ていた。
 - 準備物の確認や机間巡視によるノート記入のチェックが細かくされていた。
 - 前に出て発言したり、書いたりすることを意欲的にやろうとする生徒が多い。

【課題】

- 生徒も先生も授業に関して真面目に取り組んでいるのに、学テの結果がついてこないのは、学校で授業改善に向けて取り組む方向性が全員に共通理解されていないからではないか。

(同じ教科の中でも取り組みにバラツキが見える。)

- 英語ではALTをもっと効果的に活用できるのではないか。
- 自己肯定感が低いという結果が出ているので、褒めて自信を持たせることも大事。
- 生徒の振り返りを定期的に点検して、赤ペンを入れる。(生徒のやる気を起こす) 自分の授業改善につなげる。

- 自力解決ができる手立て(時間の確保や、ただペアや班にしてもダメ)が必要。
- 出来るだけ子供に表現させる(先生があまり喋らず、子供の表現を待つ。)
- 発言は立って言わせる。
- イラストや写真、視聴覚教材などの視覚的支援の工夫。

